

三木町百眼百考会議
第4回仲間づくり部会会議 議事概要

記

- 1 日 時 平成23年8月3日(水)
開会 午後7時00分 閉会 午後9時15分
- 2 場 所 三木町役場 101会議室
- 3 出席者(委員) 市原信夫 岡本由美子 穴吹和子 安元孝義
多田恵美子 矢野正高 吉岡満
(事務局) 宮井夕貴子 漆原翔平 松本裕司
北岡望(防災) 井上百合子(高齢者)
- 4 議 事
 - ① 理想的な連合自治会のイメージについて ～防災対策と高齢者対策～
 - ② 次回の会議日程及び協議事項について
- 5 配布資料
 - ・ 三木町の防災及び高齢者に関する資料
 - ・ 自主防災組織に関する資料(以上、矢野正高氏配布)
 - ・ 地域包括支援センターの手引き
 - ・ 三木町の介護保険に関する資料(以上、井上主幹配布)
- 6 会議経過
 - ・ 前回までの議論のまとめ
自治会組織を連合化しすることで、昨今の問題である防災及び高齢者問題を地域で解決する必要があることを確認。
 - ・ 防災及び高齢者担当課による現状と課題報告
(防災担当課)
東日本大震災を受けて、避難所に備蓄倉庫・物資を置く方針。また、地域防災計画を見直ししている。今後は自主防災組織が消防団員と連携できるような体制をとるなど、その活動の活性化をしていくことが課題である。
(高齢者担当課)
介護保険料が年々増加する昨今、三木町では地域包括支援センターを設置して、介護予防に重点を置いている。三木町は健康寿命の数字が悪いため、地域ぐるみで高齢者を支援していく必要がある。

- ・ 防災及び高齢者の問題を地域で解決する方策について議論

(防災)

災害時、民生委員による全ての独居老人の安否確認は不可能と思われるので、地域（自治会）で連絡網を構築すべきである。

消防団員は、自らの意思で団員になっているので、地域のリーダーとなり地域を引っ張っていく力があると考え。消防団員と自治会を絡めて災害時の連絡網を構築していくのはどうか。

(高齢者)

介護予防サポーター、認知症サポーター、傾聴ボランティアの養成講座が行われているが、彼らが地域に出て活躍できていない。また、これらの養成講座が実施されていることをもっと町民に知らしめる必要がある。やりたい人はいる。

高齢者は閉じこもり傾向なので、地域で体操やお茶会を開催する。

自治会や地元企業、学校、ボランティア等を通じて高齢者を地域でサポートすることが重要。

緊急通報装置は、近所の協力員が得られないため効果が薄い。地域の繋がりが強化されれば実効が上がるのではないか。

(全体)

これらを実行に移すために、ある程度行政主導で地域のリーダーとなる人を見つけていかないといけない。

- ・ 次回開催日時及び協議事項を決定

日 時：平成 23 年 8 月 31 日（水）午後 7 時から

場 所：三木町役場 101 会議室

協議事項：自治会の連合化に向けた具体的な取組について

自治会への加入促進、地域による防災及び高齢者問題の解決にあたり、これまで議論した取組案を具体的にどう取り組むことで、地域を連合化していくか肉付けをしていく。それにあたり、これまでの議論を集約した提案書の素案を提示することとする。